質疑回答書

工事番号： 第01-11号

工事名： (仮称)下津中学校校舎等建設工事

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
28		S-016	構造鉄骨基準図(1) 4.製作工場の選定で、Hに印あります。M+、Mグレードでは、不可でしょうか。	用途が学校で避難所にもなり得る施設で重要度も高い建物であるため、管理体制等水準の高いHグレードとします。
29		S-016	構造鉄骨基準図(1) 5.第三者検査機関の選定で、請負会社と年間取引率が50%以上ある第三者検査機関は不可とするとあります。請負会社から第三者検査機関に対して、50%以上と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
30		S-016	構造鉄骨基準図(1) 7.使用材料で、大梁端部のフランジ、ウェブに関して高炉材に○印がありますが、高炉材のH形鋼が調達しにくい状況です。メーカーの製造が不定期なことに加えて、最低ロット等都度製造条件が変わります。同じJIS材の電炉材でも可能でも宜しいでしょうか。(なお、JIS内においての成分値は高炉材と電炉材で違いはございません。)	調達可能な部材については図面通り高炉材とします。調達が不可能な場合のみ電炉材でも可とします。 ※電炉材とする場合は着工後にどの部位に使用するかを示すようにして下さい。
31		S-407	鉄骨雑詳細図【体育館】 XB7通+774 立上り壁・目隠し基礎 配筋詳細図に、XB7通の横打スタッドが図示されておりますが、スタッドのサイズ等の仕様が不明です。スタッドのサイズ等の仕様をご指示下さい。	16Φ (h=100)とします。 別紙参照(S013図)
32		S-019	構造鉄骨基準図(4) 3.角型鋼管柱詳細図-チ.仕口内の内ダイヤフラム付きコラムスキンプレートの材質はC材とするとありますが、コラム柱がBCR295に関しては、C材が存在しません。BCR材はSN材のB種相当になります。BCR295の使用で、宜しいでしょうか。	よろしい。

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
33	建_No 22	S-216	鉄骨雑詳細図【校舎棟】 スチールシャッター下地図がありますが、設計書(建_No22)の角型鋼管φ-100*100*3.2に含まれていると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
34	建_No 11 代価(建築)_No 20	S-014	ひび割れ対策要領図 5.床版ひび割れ防止対策5-2-(2) コンクリートに打設後に乾燥収縮低減剤を散布するとありますが、設計書(代価(建築)_No 20)では、乾燥収縮低減剤がコンクリートの混和剤となっております。乾燥収縮低減材の散布でよろしいでしょうか。 散布の場合、太平洋マテリアル クラックセイバー 同等品と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
35		A-003S-002	特記仕様書3 6章コンクリート工事 6.2.5構造体コンクリートの仕上がり (2)(ア)(c)①より、コンクリート(構造体)の水セメント比は55%以下と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
36		S-202	基礎梁リストにおいて、FG7の腹筋が記述(4×2-D16)と図(5×2-D13)で食違います。記述(4×2-D16)を正と考えて宜しいでしょうか。	5×2-D16とし、訂正図面を提示します。
37		S-203	床版断面リストにおいて、DS6備考欄が空白になっていますが、フラットデッキプレートt=1.0mmと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
38		S-204	柱脚断面リストの柱脚柱型基礎詳細図において、「SC1,SC2」の左図は礎柱SC1,SC2、「SC11,SC11A,SC11B」の左図は礎柱SC11,SC11B、「SC12」の左図は礎柱SC12が対応するものと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
39		S-204	柱脚断面リストの柱脚柱型基礎詳細図において、表記されている主筋本数は増打部を除くものと考えて宜しいでしょうか。また、先が正の場合、礎柱SC11-2の主筋本数が、記述(20本)と図(10本)で食違いますが、記述(20本)を正と考えて宜しいでしょうか。	主筋本数は増打部を除くものとします。SC11-2は記述の20本(X:6,Y:6)が正です。

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
40		S-402	基礎梁リストにおいて、FCG23の腹筋が記述(4×2-D13)と図(5×2-D13)で食違います。図(5×2-D13)を正と考えて宜しいでしょうか。	図を正とし5×2-D13とします。
41		S-403	RC基礎小梁リストにおいて、B21の中央下筋が記述(5本)と図(3+1本)で食違います。記述(5本)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
42		S-403	RC基礎小梁リストにおいて、B22の中央下筋が記述(5本)と図(3+1本)で食違います。記述(5本)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
43		S-403	RC基礎小梁リストにおいて、FB21の中央上筋が記述(3本)と図(3+2本)で食違います。記述(3本)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
44		S-403	RC基礎小梁リストにおいて、FB23AのXB2通側端の下筋が記述(3本)と図(4本)で食違います。記述(3本)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
45		A-513S-013	D-1308屋上配管取出口(ハト小屋)において、☆配筋は構造図によると記載されていますが、配筋標準図(10) 16-8 屋上配管取出口にならうものと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
46	建_No 111、112		設計書(建_No111、112) スライディングウォール内訳に、A-526、527、528とあります。A-526、527、528図は、ありません。スライディングウォール詳細図があれば、頂きたいです。	参考図を提示します。

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
47	建_No 97.104		設計書(建_No104) アルミ製建具内訳及びシャッター内訳に、A-520とあります。 A-520図は、体育器具詳細図です。内訳のA-520は、A-508図でしょうか。	設計書(建_No97,104)における「(A-520)」の記載は削除するものとします。
48	建_No 72		設計書(建_No72) 金属工事内訳のAW-13、SS-JP27間塞ぎ金物の明細に、A-520とあります。 A-520図は、体育器具詳細図です。 詳細図は、ありませんでしょうか。	設計書(建_No72)における「(A-520)」の記載は削除するものとします。
49	建_No 90		設計書(建_No90) 金属工事内訳のSLW上部補強金物の明細に、A-528とあります。 A-528図は、ありません。 A-528図は、ありませんでしょうか。	No46の質疑回答参照。
50	建_No 199、201		設計書(建_No199、201) 金属工事内訳の玄関防球ネット取付金物、水平引込折畳式バスケット台取付用アンカーホルトの明細に、A-530とあります。 A-530図は、ありません。 A-530図は、ありませんでしょうか。	設計書(建_No199,201)における「(A-530)」の記載は「(A-520)」に読み替えるものとします。
51	建_No 220、221		設計書(建_No220、221) 内外装工事内訳のアリーナ・ステージ鋼製床組の明細に、A-532～533とあります。 A-532～533図は、ありません。 A-522～523図で宜しいでしょうか。	設計書(建_No220,221)における「(A-532～533)」の記載は「(A-522～523)」に読み替えるものとします。
52	建_No 195		設計書(建_No195) 金属工事内訳のブドウ棚手摺の明細に、A-533-1とあります。 A-533-1は、ありません。 図面漏れでしょうか。	設計書(建_No195)における「(A-533-1)」の記載は「(A-524)」に読み替えるものとします。
53		A524	舞台設備詳細図 舞台吊物機構設備、3.鉄骨架台に○がありますが、設計書に含まれておりますか。含まれている場合、明細のどの部分に記載されているかをご教授願います。	鉄骨架台(ブドウ棚)_C-100*50*20*2.3 建築工事b-7鉄骨工事【舞台設備_別図】駆動マシン・滑車受材・端部受材・アンカーホルト・吊材は吊物機構に含みます。(設計書の建_No236-237 吊物機構1～11に含みます)

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
54		A401・A405 A408・A508	建具共通事項と建具詳細図ではATの遮音扉はグレモンハンドル錠となっておりますが、建具表ではレバーハンドルとなっております。どちらでお見積りすればよろしいでしょうか。ご指示ください。	レバーハンドルを正とします。
55	建_No 302	A-806	正門、裏門のステンレス製門扉の参考品番をご教示いただきたいです。	下記製品を参考としてください。 正門⇒ヒガノ株式会社：ノンレール手動ボックススライド式引戸 裏門⇒ヒガノ株式会社手動ダブルスライド式引戸
56		M-001,208	図面リストに、M-208：自動制御設備 体育館棟 ピット階平面図とありますが、M-208図がありません。 M-208図をご提示ください。	図面が抜けておりましたので、提示します。
57		M-003	屋外に設置されている機器が耐塩害仕様となっておりますが、一次側の給排気ダクト材は亜鉛鉄板と考えて宜しいでしょうか。	ダクト材は塩害対策として材質をガルバリウム鋼板とします。
58		M-304	校舎棟と体育館へ渡っている衛生配管にはEXPフレキなどは不要と考えて宜しいでしょうか。	不要でよろしい。 M-002に記載の建物導入部の仕様を確認してください。
59		M-314	排水管には高温対応は無いものと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
60		A-001	特記仕様書1 1章各章共通事項 1.2.6総合図の作成等にて、「受注者は、総合図、施工図等の調整担当者として、一級建築士の資格を有し、原則として、本工事に類似した工事の施工図等の調整経験をもつ担当者を選任し、本工事に専任させる。」との記載がありますが。かなり限定的な人選となります。一級建築士又は経験のうち、どちらかを有する者では、不可でしょうか。	一級建築士の資格は必須とし、経験は類似(学校用途)に限らず、延床面積3,000㎡以上の鉄骨工事の実績があることとします。

番 号	設計書番号	図面番号	質 問 事 項	回 答
61		A-003	監理者事務所の備品類は、何人を想定すれば宜しいでしょうか。 また、パソコンは、何台見込めば宜しいでしょうか。	2台見込んでください。